



異常が長く続くと通常に？

前号では「県内のコロナ新規感染者1日当たりの人数が、100名±30名程度に落ち着いてきました。あと少しの我慢です。」と書かせていただきましたが、8月にはほとんどもない数値に跳ね上がりました。1600人を超えた日が6日もあったのですから。しかし、あまり慌てふためく様子もなく淡々と過ぎていきました。福井県の累計感染者数が約10万人ですから、すでに県民7人に1人が感染したことになります。ですから、「知り合いの中に数名はコロナ感染したことがある」という状況です。異常な状況が長く続くと異常ではなく通常になります。異常な時代に生きた人間は、「異常」を語り継ぐ必要があります。語り部の仕事が増えそうです。

■小学校の校外学習のお手伝い



6月に大安寺小学校と宝永小学校 7月に 和田小学校 大安寺小学校では教室で講演会。まちあるきでは左内公園、北の庄、福井城址などをご案内しました。学校によっては1人1台のタブレットを持ってまちあるきをする様子もあり、時代を感じました



■公民館の教育事業福井学で講師



6月に和田公民館・森田公民館 7月に啓蒙公民館・宝永公民館・旭公民館・円山公民館、そして8月には中藤島公民館にて公民館の教育事業として講師依頼をいただきました。歴史を学ぶことにより今の時代を考えるきっかけとなり郷土愛も深まります。福井の良さを再認識していただけたら幸いです。

■夏休み自由研究お助け隊！ 一乗谷朝倉氏遺跡 鉄壁の守りへGO

親子で15名の申し込みがありました。熱中症予防にも万全を期して、安波賀の川湊、春日神社へ。下城戸では石の高さを測ったりして、朝倉のすごさを実感しました。



■語り部発表会 in 敦賀

福井県観光ボランティアガイド連絡協議会主催の語り部発表会が、7月1日敦賀のあいあいプラザで開かれました。当会からは4名の参加。「コロナ禍にあっても今できることを着実に」というテーマで、観光ボランティアガイドつるがの会長増田正樹氏による講演がありました。その後は2コースに分かれまちあるき。敦賀の魅力再発見いたしました。



- ①鉄道と湊の歴史散策（金ヶ崎緑地）
- ②芭蕉の足跡探訪（色ヶ浜）



芭蕉の歌碑



講演会

■新人語り部研修会



北の庄

今年度は6名の登録があり新人ガイドとしての座学と実地研修が行われました。皆さんの真剣なまなざしと生き生きとしてひたむきな様子に感動しました。



朝倉氏遺跡



福井城址

語り部活動を
紹介しています。
ブログ



ブログで、活動を発信しています。福井県交通まちづくり課さんの呼びかけで、県民の声に反映させるための、「現場でトーク」に参加したことなどを紹介をしています



ガイドや歴史講座のご案内
歴naviふくい

「一乗谷朝倉遺跡」、「養浩館庭園」、「福井城址」などの福井市内の史跡や、ご希望のコースをご案内します。語り部と学ぶ歴史講座のテーマ名も紹介されています。歴史ガイドの申し込みや歴史講座の講師依頼もこちらへ



動画で福井の歴史を発信

YouTube



YouTubeでいろいろなことを発信しています。写真は大安禅寺の千畳敷の案内です。



ご存じですか？

天下人にも好まれた笏谷石

前田 豊彦

足羽山で採掘されていた「笏谷石」は、約1800万年前の火山活動による火砕流が堆積した火山礫凝灰岩(かざんれきぎょうかいがん)で、青みを帯び水にぬれるとその色が鮮やかな青色を呈し、色調が非常に美しく、石質はやわらかくて加工しやすいことから、石材から生活品まで幅広く利用されてきました。

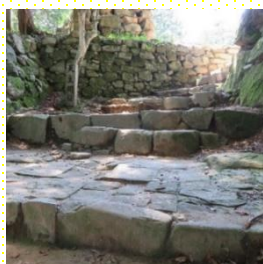
笏谷石の歴史は、1500年以上前の古墳時代に作られた石棺から始まります。そして約500年間の空白期間を経て再度利用され始めたのが鎌倉時代の石塔(墓石)。戦国時代、一乗谷朝倉氏遺跡からは、石仏や生活用品も数多く出土しました。朝倉氏が滅び柴田勝家が北庄に入ると、笏谷石は築城のため石瓦や石垣に多く利用され始めました。

織田信長の伝記である『信長公記』(太田牛一著)に、天正9年(1581)に越前を平定した柴田勝家が越前から「切石数百」を信長に進上(献上)したことが記されています。

七月十一日、越前より、柴田修理亮、黄鷹六連上せ、進上。並びに、切石数百、是れ又、進上申され候ひしなり。(「信長公記」太田牛一著)

勝家は信長から越前の領国統治を任せられ、その戦利品として信長に進上したのが、この笏谷石で安土城跡に見られるのです。天守台穴倉の入り口の踊り場部分通路幅一杯に敷き詰められ、また、笏谷石製容器が天守周辺でしか出土していないことから信長にとって貴重品であったことが伺えます。

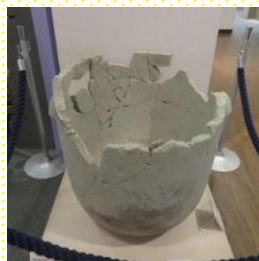
堀秀政・長谷川秀一・木村重茲宛の豊臣秀吉朱印状に「(秀吉が)北庄で指示した切石550個急いで京都に着くよう運びなさい」と命じている。実際、運ばれたか、何に利用されたのかは、不明のようですが天下人である秀吉も笏谷石に興味を持ったことは想像されます。



安土城跡にみられる笏谷石敷石



伝本丸跡 笏谷石製容器の出土状況



笏谷石製容器

(大河内勇介氏ふくいミュージアム研究ノート「秀吉朱印状の紹介を通じて」参照)

安土城考古博物館展示品

(編集後記)

コロナワクチン第五回目接種が近づいてきました。そして、冬のインフルエンザワクチンも。ワクチンだけでも忙しい！

【発行】福井市歴史ボランティア「語り部」
(公財) 歴史の見えるまちづくり協会